

いわて復興だより

がんばろう！岩手 つながろう！岩手

三陸復興

第 98 号

平成 27 年 12 月 15 日号

復興に向けて歩み続ける岩手県の今を紹介します

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災津波。発災以来、全国そして海外からも多くの温かい励ましや御支援をいただいております。心から感謝申し上げます、この「つながり」を大切にしていきたいと思っております。

師走も半ばを過ぎ、降った雪も溶けることなく山々を白く飾りはじめた今日この頃。

復興に向けて歩み続ける岩手の今を紹介します。

ココロハコブプロジェクト 「いわてフェスタ@MEGA WEB」開催

東京都
江東区

11月21日(土)から11月23日(月・祝)までの3日間、トヨタ自動車のショールーム MEGA WEB (メガウェブ：東京都・江東区) でココロハコブプロジェクト「いわてフェスタ@MEGA WEB」が開催されました。

ココロハコブプロジェクトは、トヨタ自動車グループ・関係会社による被災地支援活動の一環で東日本大震災津波からの復興を目的としたもの。今回は、岩手県の魅力や復興の現状と取組をより多くの人に知ってもらおうと企画されました。

会場内の MEGA ステージでは、岩手県を代表する郷土芸能「盛岡さんさ踊り」をはじめ、「鬼剣舞」、「早池峰岳(たけ) 神楽」等が披露され、多くの人を魅了しました。

また、MEGA スクエアでは、「おでんせ！」岩手県ブ

ース」が設けられ、岩手県の物産品の販売ブースとあわせて、復興に向けた取組を紹介するブース、世界遺産である「平泉」や「橋野鉄鉱山」を紹介するブース等が展開されました。

他にも、トヨタ自動車東日本岩手工場(金ヶ崎町)で生産されているハイブリット車「AQUA(アクア)」に、岩手県の工芸品である浄法寺塗りで塗装したエアロパーツを装着した特別車の展示や、製造過程を見ることが出来る「バーチャル工場見学」コーナーも設置されました。

11月22日(土)には、大船渡市から運ばれた「サンマ」1,000匹が来場者に振る舞われる等、岩手県の復興状況や元気な姿を発信できるイベントとなりました。



会場の様子



サンマの振る舞い



披露された「鬼剣舞」



展示された特別車「AQUA」

「いわて復興インデックス報告書(第16回)」のデータから

沿岸被災12市町村を中心とした本県の復旧、復興の現状やその推移を把握するためのデータを定期的に取りまとめている「いわて復興インデックス報告書」。

今回は、第16回(平成27年11月20日発表)結果から、主なデータを紹介します。

暮らし

災害公営住宅の進捗率：38%
完成戸数：2,216戸
(県整備1,049戸、市町村整備1,167戸)
(平成27年9月30日現在)

*平成26年9月末 完成戸数899戸・進捗率16%

災害公営住宅整備事業における建設予定戸数5,771戸(県整備2,784戸、市町村整備2,987戸)に対する進捗率は38%。

なりわい (産業)

産地魚市場水揚量：67.0%(3年平均比)
44,406トン
(年度累計：平成27年4月～平成27年9月)

前年同期比では4.5%減となっている。これは、サンマとスルメイカの水揚げが著しく不調であることが主な要因となっていると見られる。

安全

まちづくり(面整備)の進捗率：20%
完成区画数：1,626区画
(平成27年9月30日現在)

宅地供給予定区画数8,064区画に対する進捗率は20%。

詳しくは [いわて復興インデックス](#)

[検索](#)

三陸だより

東北を元気にする作文「わたしたちのふるさと、10年先の物語」
最優秀賞に岩間壮太君、短編映画化決定！ **大槌町**

応募総数364作品の中から最優秀作品として選ばれた岩間壮太君(小学5年生)の作文「震災から4年と半年(感謝を忘れない)」を原作に「未来のカケラ」を短編映画化！2月には、岩手県・宮城県・福島県で上映会開催。

●政府広報オンライン特集サイト http://www.gov-online.go.jp/cam/fukko_susumotion/

●ショートショートフィルムフェスティバル & アジア HP 内特設ページ <http://www.shortshorts.org/susumotion/>

制作発表会
(写真提供：(株)NTTアド)



新たな街の誕生

宮古市

「田老まちびらき記念式」が開催されました

平成 27 年 11 月 22 日（日）、東日本大震災津波で壊滅的な被害を受けた宮古市田老地区で、高台移転団地の造成が概ね完成したこと等を記念した「田老まちびらき記念式（主催：宮古市）」が同地区の特設会場で開催され、地域住民ら約 300 人が出席しました。

同地区では、高台への防災集団移転事業として三王（さんのう）団地（約 25.5 ヘクタール）に、161 区画の宅地を造成。土地区画整理事業（約 19 ヘクタール）では、約 2mかさ上げし、180 区画の宅地を整備しました。

式典で山本正徳宮古市長は、「宮古市に住んでいることを誇りに思える街を共につくり上げたい。」と復興に向けた決意を述べました。

また、田老第一中学校 3 年の西川竜斗さん（15）は、「住民の防災意識を高め、津波のことを後世へ語り継ぎ、田老とともに生きていきます。」と誓いました。



誓いを述べる西川竜斗さん（写真提供：宮古市）

三陸沿岸道路「吉浜道路」が 開通しました

大船渡市

平成 27 年 11 月 29 日（日）、東日本大震災津波の復興道路として整備が進められている三陸沿岸道路の「吉浜道路」が開通し、現地で開通式が開催されました。

開通式には、石井啓一国土交通相や達増知事をはじめ地元住民ら約 300 人が出席。石井国交相は「復興道路や復興支援道路の一日も早い全線完成を目指し事業に努めていく。」と挨拶しました。

「吉浜道路」は、大船渡市三陸町越喜来（おきらい）の三陸インターチェンジから越喜来高架橋（584m）、吉浜トンネル（1,644m）、吉浜高架橋（延長 373m）を経て、同市同町吉浜の吉浜インターチェンジを結ぶ自動車専用道路で、全長 3.6km。

急こう配と急カーブが続く国道 45 号線と比べて、所要時間が 10 分から 4 分に短縮。地域産業や観光産業の振興、大規模災害時の緊急輸送道路としての幅広い効果が期待されます。



開通した「吉浜道路」

被災地・三陸の復興へ向け、多くの若者が情熱を注いでいます。連載「未来のさんりくびと」では、毎号、復興への熱い想いを秘めた若者を紹介していきます。

第 50 回目は、小笠原 千尋さんを紹介します。

PROFILE

陸前高田市出身。

岩手大学工学部建設環境工学科で土木について学び、平成 24 年 4 月に宮城建設株式会社（本社・久慈市）に入社。

「2 級土木施工管理技士」の資格を持ち、現在は、現場代理人として復興事業に携わるなど、女性技術者として活躍中。

震災をきっかけに県内就職を決意

大学で土木の勉強をし、建設業への就職活動をしている時は、特に就職地にこだわりのなかった小笠原さん。東日本大震災津波をきっかけに、「就職するなら県内」と決意。現在は、久慈市に本社を置く建設会社に就職し、復興の最前線で活躍しています。

復興の印象について小笠原さんは、「私が現

未来の さんりく びと

宮城建設株式会社

現場代理人

小笠原 千尋

（おがさわら ちなみ）さん



小笠原さんからのひと言：

インフラ整備で

岩手を支える !!

場を担当している野田村では順調に復興が進んでいると思います。規模の違いもあると思いますが、地元の陸前高田市は盛土している状況で、県内でも復興が早い所と遅い所があると感じています。しかし、工事をやる立場からみると時間がかかることも分かるのでどかしい気持ちもあります。」と話します。

建設を通して地域貢献へ

小笠原さんが働く会社では震災をきっかけに、太陽光発電パネルと蓄電池を社屋に設置し、災害時の停電に備えると同時に、避難住民の受け入れに対応した電源システムを導入しています。

「現在、売電用に太陽光発電をしている所が 4 ヶ所あり、特定規模電気事業者に売電をしていますが、今後、久慈市内に電気を供給できるようにすることで電気の地産地消ができるのではないかと考えています。」と、建設業を通じた地域貢献への抱負を述べました。

復興を進める現場に従事すると同時に、今後の地域防災へ期待が寄せられます。

岩手県の被害状況

平成 27 年 11 月 30 日現在

- ▶ 人的被害 死者（直接死）：4,672 人 行方不明者：1,125 人
- ▶ 建物被害（住家のみ、全半壊） 26,166 棟

被害状況等の詳細

義援金・寄付金の募集等

[いわて防災情報ポータル](#)

[検索](#)

皆様のご支援、ありがとうございます

平成 27 年 11 月 30 日現在

- ▶ 義援金受付状況 約 184 億 2,695 万円（92,327 件）
- ▶ 寄付金受付状況 約 197 億 1,175 万円（7,536 件）
- ▶ いわての学び希望基金（※）受付状況 約 78 億 2,058 万円（16,637 件）

※ 被災した子どもたちが勉強やスポーツ等に励めるよう「くらし」「まなび」の支援に使われます。

ビジュアル豊富な【いわて復興だより [Web](#)】もご覧ください!!

<http://iwate-fukkoudayori.com>

いわて復興だより 第 98 号 平成 27 年 12 月 15 日号 企画・発行：岩手県復興局復興推進課 ☎ 019-629-6925

いわて復興だよりバックナンバーは

[いわて復興だより](#)

[検索](#)

編集・印刷：シナプス

【次回のいわて復興だよりについて】次回は 1 月 15 日号の発行を予定しています。